

2016 年 7 月 12 日

リプレックス株式会社の株式譲渡について

株式会社産業革新機構（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：勝又幹英、以下「INCJ」）は、同社が保有するリプレックス株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役：大中邦彦、以下「リプレックス」）の全株式について、カシオ計算機株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役：樫尾和宏、以下「カシオ」）へ譲渡しましたのでお知らせ致します。

INCJ は、2012 年 7 月、静止画および動画の領域でグローバルに幅広く使用されるサービスの開発を目指して写真プラットフォームサービスの開発を行うリプレックスへの出資を決定し、主に当時新規事業であった写真管理アプリ「Scene」事業への支援を行ってきました。Scene は 2013 年 9 月のサービス開始後、180 万ユーザーを獲得し（2016 年 7 月 12 日現在）、Google Play™ *において 2014 年並びに 2015 年の年間ベストアプリにも選出されました。今後は、INCJ が保有するリプレックスの全株式をカシオに譲渡し、カシオのハード技術とリプレックスのソフト開発力が一体となった、新たなイノベーションの創出に期待します。

なお、リプレックスの総合ウェブ年賀状サービス「ウェブポ」事業は富士フイルムイメージングシステムズ株式会社に事業譲渡されました。

* Google®によって提供される、主に Android 端末向けデジタルコンテンツ（アプリケーション・映画・音楽・書籍など）の配信サービス。

* Google、Google Play は、Google Inc. の商標または登録商標です。

参考）INCJ は、2012 年 7 月 25 日に「写真プラットフォームサービス開発ベンチャーへの投資を決定」を公表しています。

URL : http://www.incj.co.jp/investment/deal_032.html

リプレックス株式会社について

設立	2006 年 3 月
事業内容	ソフトウェアの研究・開発/電子商取引を利用した商品及びサービスの販売
所在地	東京都渋谷区
代表者	大中 邦彦
URL	http://www.ripplex.com/

カシオ計算機株式会社について

設立	1957 年 6 月
事業内容	電子機器の製造・販売
所在地	東京都渋谷区
代表者	梶尾 和宏
URL	http://casio.jp/

株式会社産業革新機構（INCJ）について

INCJ は、2009 年 7 月にオープンイノベーションの推進を通じた次世代産業の育成を目指して、法律に基づき設立された会社です。総額約 2 兆円の投資能力を有しており、革新性を有する事業に対し出資等を行うことで産業革新を支援することをミッションとしています。

INCJ は、投資・技術・経営等で多様な経験をもつ民間人材によって運営されており、法令に基づき、当社内に設置している産業革新委員会にて、政府の定める支援基準に従って投資の可否の判断を行い、日本の産業革新に資する投資を実施いたします。

（本発表資料のお問い合わせ先）

株式会社 産業革新機構 企画調整 Gr. 広報 入江、坂井
東京都千代田区丸の内 1-4-1 丸の内永楽ビルディング 21 階
電 話：03-5218-7202（広報）

[別紙]

1. 対象事業会社

リプレックス株式会社

- ・設 立 : 2006 年 3 月
- ・代表者 : 大中邦彦
- ・所在地 : 東京都渋谷区
- ・事業内容 : ソフトウェアの研究・開発 / 電子商取引を利用した商品およびサービスの販売

2. 支援決定概要

- ・支援決定金額 : 7 億円(上限)
- ・実投資額: 7 億円
- ・共同投資家: リード・キャピタル・マネージメント(株)、(株)環境エネルギー投資等
- ・株式保有割合: 非公表
- ・支援決定公表日: 2012 年 7 月

<https://www.incj.co.jp/news/assets/1417677440.01.pdf>

- ・投資ストラクチャー図:

<https://www.incj.co.jp/performance/upload/docs/1417677440.02.pdf>

3. 経緯

(1) 出資の経緯

ハードウェアが支配した時代には、デジタルカメラ関連など日本企業が世界的にシェアを独占できましたが、ネットが支配する時代に移行すると、米国系のネット系グローバルプレーヤーが台頭することになり、さらに、ソーシャル・モバイルやクラウドの普及で、各種コンテンツの多様化により、新たなプラットフォーム出現の可能性が出てきました。

リプレックスは、2012 年 7 月、新たに写真整理・共有サービス「guPix」(ゲーピックス)の提供を開始しました。同サービスは、パソコン、スマートフォン、メモ리카ード、クラウドストレージなどに分散したすべての写真を全自動で同期し、利用者に手持ちのすべての端末から閲覧および利用を可能とする革新的なソフトウェア・アプリです。

INCJ は、リプレックスはグローバルプラットフォームの確立を狙えるベンチャー企業として有望視し、2012 年 7 月、リプレックスに対し、総額 7 億円の投資を決定し、4 億円の投資を実行しました。

(2) 事業の進捗

2013 年 9 月に新たにローンチした写真整理・共有サービス「Scene」は、着実にユーザー数を拡大し、国内外の事業会社からも非常に高い評価を獲得し日系大手の各社との連携も実現していました。

そのような状況の下、INCJ は、2014 年 3 月には、残りの 3 億円を投資しました。その後、180 万ユーザーを獲得し(2016 年 7 月 12 日現在)、Google Play においても 2014 年並びに 2015 年の年間ベストアプリにも選出されるなどの実績を残してきました。

(3)Exit の経緯・内容

写真関連サービスを手掛けるグローバルプレーヤーが新規参入・伸長し、プラットフォームの覇権を狙った競争が激化していく環境下において、当初の事業計画からの遅れが生じつつありました。リプレックスのソフト開発力を活かし、写真プラットフォームサービスとしての更なる飛躍を狙うためには、リプレックス単独での事業展開よりもハード技術に優れた他社との連携をより本格的に志向していくことが良いと判断し、既に製品レベルで事業連携を行ってきたカシオ計算機と協議を進め、INCJ が保有するリプレックスの全株式をカシオ計算機に譲渡することになりました。

譲渡後は、リプレックスの技術、顧客基盤は、カシオ計算機のもとで活用され、新たなサービスの開発に繋がることが期待されています。

4. 主務大臣(経済産業大臣)の意見

ベンチャー企業等への積極的な支援は、今後も我が国の産業競争力の強化において重要である。本案件の課題を分析し、その反省に立って引き続きベンチャー企業等への支援を行うとともに、支援案件全体としての収益性の確保に努められたい。